

競争から共生へ

●誰の世話にもなっていない？

(個人的な体験) 交通事故で寝たきりの時、それまで「誰の世話にもなっていない」と思っていた私は、「生かされているだけの自分」を発見しました。寝たきりですからこれは当たり前のことですが、実はもっとショックだったのは「元気な時でも、本当は生かされているだけなんだ」ということに気づいたことです。

●ミクロコスモス (小さな宇宙)

デパートで、水の入った丸いガラスの容器を見かけました。

「太陽に当ててください」と書いてあり、中には水草とミジンコ、エビが数匹泳いでいます。生き物が密閉容器に封じ込められているので驚きました。1年でも2年でも生きるそうです。その食物連鎖と光合成の微妙なバランスのどれ一つ壊れても、すべて死んでしまうのです。これを考え出した人のアイデアに驚くと同時に、実はこの地球もこれと同じであることに気づいて大きなショックを感じました。

●すべてのものは支え合っている

認識できるかできないかに関わらず、すべては支え合っています。

私たちは「害虫だから、かゆいから、痛いから、気味が悪いから、きたないから、売れるから、儲かるから、きれいだから、便利だから、おいしいから……」などと自分勝手な理由で乱獲や絶滅など無茶なことをしてきました。

でもこの一つ一つの生物が私たちの生命、存在にどれほど深く関わっているのか私たちは知らないのです。私たちの体内の大腸菌が、ミトコンドリアが、酵素や微生物が死滅すれば私たちも死ぬのです。

すでに私たちの身体は、私たちが寄生虫と呼んでいる虫たちが住めないほど汚染されています。そして今では、ガン、アレルギー、アトピー、免疫低下や、エイズ、エボラ出血熱、O157、院内感染など新しい感染症に苦しんでいます。

●なかよし

10人分の食べ物を10人で奪い合えば何人が満足に食べられるでしょう。

恐らく誰もが傷つき、誰もが満足に食べられないでしょう。

でも分け合えば10人でも、20人でもでもなごやかに食べられるでしょう。

一人だけ生き残ろうとすれば、みんな死にます。

みんなが助け合い譲り合うことが、みんなが生きられる道なのです。